

令和5年度
第4回 伯寿の郷ユニット型特養運営推進会議議事録

1. 日時 令和5年11月21日(火) 14時～14時30分
2. 場所 伯寿の郷 会議室
3. 出席者 家族様代表 1名様 (入所者ご家族代表)
知見を有する者 1名様 (安田地区民生委員)
市役所職員 1名様 (安来市介護保険課)
地域包括支援センター職員 1名様 (包括支援センター相談支援員)
施設職員 竹内施設長、山崎主任、田邊相談員
4. 欠席者 地域住民代表者 1名様 (前安田交流センター館長)
5. 挨拶 (施設長)
6. 会議次第
- (1) 入所者様の暮らしについて
 - (2) 地域との交流について
 - (3) 資質向上について
 - (4) 質疑応答

議事録

議題に沿って、管理者より説明があり、質疑応答に入った。

(民生委員) 事故・ヒヤリハットの報告の中で、改善策を具体的にした方が良い。
対策が「センサーマットを敷く」だけでは、解決になっていない。

(相談員) センサー作動時に、他利用者の対応中であると、後手になってしまいます。
「センサーマットを敷く」だけでなく、他の予防策がないか検討する必要があります。
ご意見ありがとうございました。

(民生委員) 中学生の福祉体験は、非常に良い取り組みをされたと思います。
将来、介護の仕事に就いてくれると良いですね。

(包括) 「離設」されるご利用者はありますか。また、どのような対策をされていますか。

(相談員) 現在離設のリスクがある方はいらっしゃいません。ユニットの玄関自動ドアはリモコン操作のため、ご利用者が自ら玄関から出入りすることはありません。

ん。ただ、当施設は平屋建てで窓を開ければ外に出られる環境です。今後このようリスクのある方が入所されることを想定が必要です。

(包括) 他施設では、離設が問題になっているようです。ありがとうございました。

(包括) 面会はどのような方法でされていますか？施設ごとに対応が違うように感じます。

(施設長) 先日安来市内4施設の施設長会議がありました。各施設の取り組みを伺って伯寿の郷でも、面会場所や時間など制約はありますが、来月から直接の面会を再開します。

(包括) ありがとうございました。

その他質疑なく、終了とする。

次回：1月16日（火） 14時～